令和2年9月定例会 一般質問通告要旨

順番 6

質問議員名	小林 誠	
質問項目	質 問 要 旨	要求答弁者
1 レジ袋有料化における当市の取り組みについて	クごみは環境問題を起こす原因であり、この問題は世界中で起こって	市長
2 「差別のない共 生社会の確立に 向けて」	新型コロナウイルスは収束する気配を見せず、感染拡大がいまも尚続いている。全国的に見れば、新型コロナウイルスの感染拡大によって、感染者やその家族、最前線でウイルスと闘う医療従事者、物流を支える運送業者などに対する差別やいじめが社会問題化している。	

文部科学省は子どもや教職員、それに地域住民に対し、差別につながる言動を行ったり同調したりしないよう呼びかける緊急のメッセージを8月25日に萩生田文部科学大臣から発出した。現実にあった事例として、感染者やその家族への非難をはじめ、すれ違いざまに距離を取られる、看護師の白衣を洗ってくれる業者が見つからない、あおり運転や投石をされたなど特定の人々への差別やいじめが深刻化している。

そのような差別やいじめが生まれる背景には、新型コロナウイルスに対する正しい知識を持たないことから、過度に不安や恐れを抱いてしまい、過剰な行動に走ってしまうことも理由の一つであると言える。社会に対し、『恐れるべきはウイルスであって、人ではない』、『病気を理由に人を差別したり、職業や属性だけでレッテルを貼って、排除したりすることは絶対に許されない』というメッセージを市として市民へ積極的に発信すると同時に、医療従事者の方々とその家族にエールを送り、それぞれの立場で共に戦おうと宣言すべきではないかと考える。

新型コロナウイルスによる差別に加えて、当市においてもいまだインターネット、SNS による差別的な書き込み事案が後を絶たない。本年 3 月には新発田市差別のない人権が尊重されるまちづくり条例を改正し、差別の根絶に向けて市も体制を強化したばかりであるが、今後ウイルスの第 2 波の襲来にも備えて、あらゆる差別のないまちづくりの実現に向けて取り組むべく以下質問する。

- (1) 新型コロナウイルスに関する差別の根絶に向けて当市としての取り組み状況は。

教育長

市長

- (2) 全国の学校現場でも新型コロナウイルスの感染者の集団、 クラスターが発生し、差別や中傷、不当な扱いを受けるケース も出ている。学校の現場こそ差別や偏見、誹謗中傷から子ども たちを守る取り組みが急務であり、それに対応する教職員向け の研修も必要と考えるが教育長の見解は。
- (3) ツイッターでの当市の部落差別を助長するような差別的な 内容の書き込みがいまだ続いているが、市の対応について。

市長